

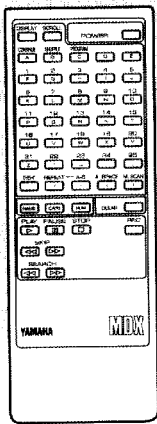
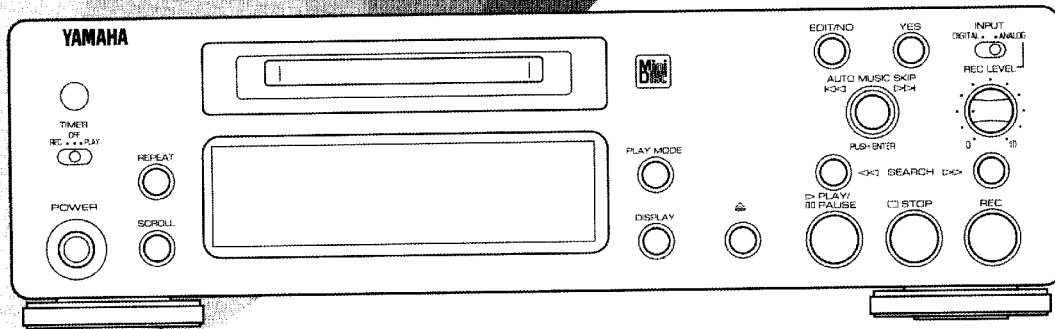
YAMAHA

CENTER

NATURAL SOUND MINIDISC RECORDER

MDX-10

取扱説明書



このたびは、ヤマハミニディスクレコーダーMDX-10をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

MDX-10の優れた性能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みくださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合、実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。










この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告		この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。			
設置されるとき		使用中に異常が発生したとき			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。 ● 表示された電源電圧交流100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ● 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 		
	 水場での使用禁止		<ul style="list-style-type: none"> ● 万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ● 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。 		
ご使用になるとき			<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。 ● 本機の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一、本機を落としたり、キャビネットを損傷した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 ● 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。 				
		絵表示の例			
		 △記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。	指を挟まれないよう注意		
		 ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。	分解禁止		
		 ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。			



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

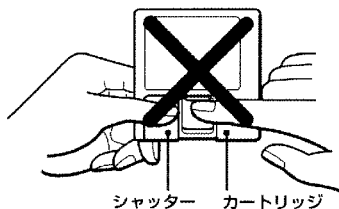
	設置されるとき	ご使用になるとき
 <ul style="list-style-type: none"> ● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 ● 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。 ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。 ● 本機の通風孔をふさがしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点にご注意してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。 ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。 ● 電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。 ● 付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示(プラス⊕)とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。  <ul style="list-style-type: none"> ● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。  <p>指を挟まれないよう注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お子様ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。  <ul style="list-style-type: none"> ● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。 	
 <ul style="list-style-type: none"> ● 本機を設置する場合は、間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまを開けてください。 	<h3 data-bbox="901 1243 1157 1281">お手入れについて</h3>  <ul style="list-style-type: none"> ● 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。 	
 <ul style="list-style-type: none"> ● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、MDディスクは取り出しておいてください。それを怠ると故障の原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。 	

MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

■ 内部のディスクに直接触れないでください

シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。



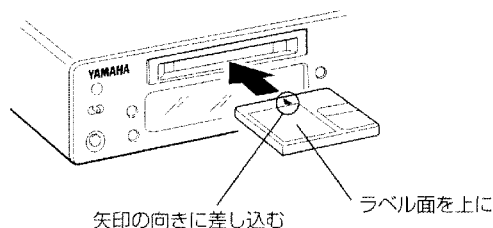
■ 置き場所について

直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。

■ 定期的にお手入れを

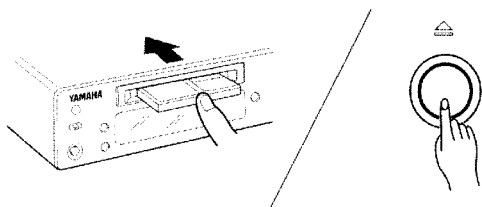
カートリッジ表面についたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクの挿入方法



挿入途中のディスクの取り出し方

挿入途中でディスクを取り出す場合は、一度挿入してからEJECT△ボタンを押して取り出してください。



※ロック機構が働くと、挿入途中では取り出せません。

使用上のご注意

■ 設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
(チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)

■ 音量を調節するときは

MDはアナログカセットテープに比べ、非常に雑音が少なくなっています。アナログカセットテープのときのように音のない部分で雑音を聞きながら音量を調節すると、思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。演奏を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。

■ ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



■ 結露について

寒いときにお部屋の暖房を入れた直後など、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは、正常に動かないばかりでなく、MDや部品もいためてしまいます。本機をご使用にならないときは、MDを取り出しておくことをお勧めします。結露が生じたときは、電源を入れたまま、しばらくの間(約1時間)放置し、再度電源を入れ直してからご使用ください。もし何時間たっても正常に動作しない場合は、ヤマハホットラインサービスネットワークにご連絡ください。

■ お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

正常な使用状態で本機に故障が生じた場合、当社は本機の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、本機の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害の保障については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



目次

MDに録音する	6
MDを再生する	8

準備

箱から出したら	9
接続する	9

いろいろな録音のしかた

録音するときのご注意	11
録音するとき便利な機能	11
録音レベルを調節する	12
録音中に曲番を付ける(トラックマーキング)	12
タイマーを使って録音する	13

いろいろな再生のしかた

表示窓の使いかた	14
聞きたい曲を探す(オートミュージックスkip/ダイレクト選曲/ミュージックスキャン)	15
曲の中の聞きたい部分を探す(サーチ)	15
繰り返し聞く(リピート再生)	16
順不同に聞く(シャッフル再生)	16
聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)	17
聞きたい部分を繰り返し聞く(A-Bリピート)	18
テープへ録音するとき便利な機能	18
タイマーを使って再生する	19

録音したMDを編集する

編集するときのご注意	20
曲をつなぐ(コ ン バイン機能)	20
曲を分ける(ディ バ イド機能)	21
曲を消す(エ ラ SE機能)	22
曲を移動する(ムー ブ 機能)	23
曲名やディスク名を付ける(タイト ル 機能)	24

その他



デジタル録音するときのルール(シリアルコピーマネージメントシステム)	26
システム上の制約について	27
メッセージ表示一覧	28
故障かな?と思ったら	28
参考仕様	29

索引	30
----	----

ヤマハホットラインサービスネットワーク	31
---------------------	----

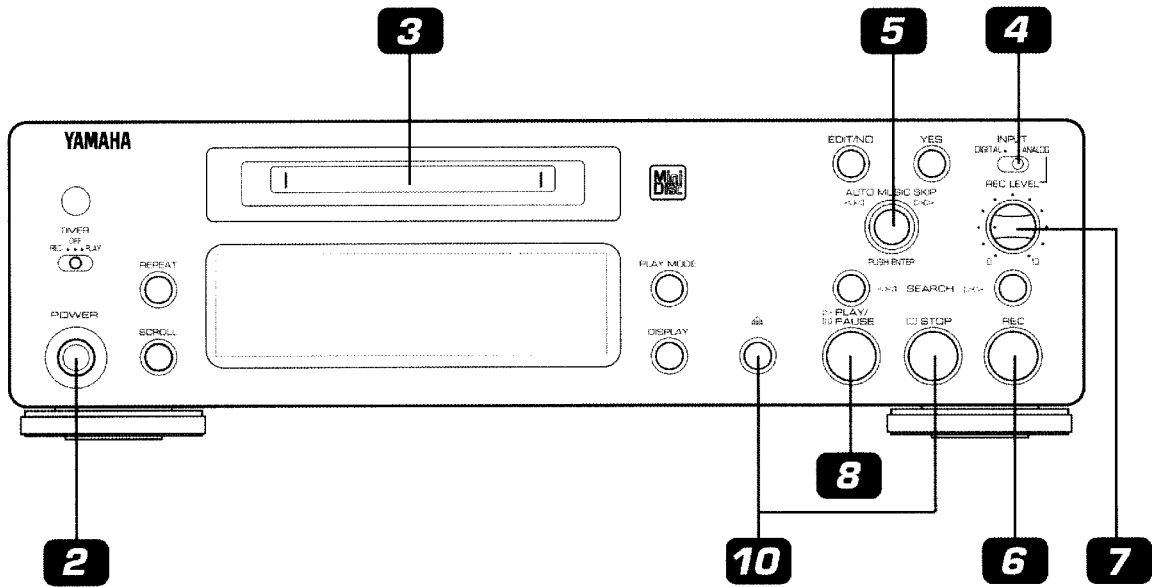
●この取扱説明書の使いかた

- 「準備」(9~10ページ)をご覧になって接続などの準備を済ませてください。
- 基本的な使いかたは、「MDに録音する」「MDを再生する」(6~8ページ)をご覧ください。
- この取扱説明書では、主に本体での操作のしかたを説明しています。
- リモコンでは、本体と同じ表示のボタンを使って、同様に操作できます。本体とリモコンのボタン表示が違う場合は、リモコンでの操作を()で説明しています。
例) >PLAY/PAUSEボタンを押す。
(リモコンでは▶ボタンを押します。)
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
	リモコンで操作します。
	知っている便利な情報です。

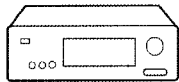


MDに録音する.....



1 録音したい音源とアンプの電源を入れ、アンプでその音源を選ぶ。

アンプ

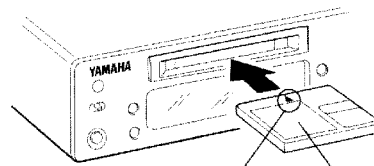


2 電源を入れる。

表示窓に「NO DISC」などが表示されます。

※ご購入後、初めて電源を入れたとき、またはACコードをコンセントから長時間抜いていた後に電源を入れたとき、表示窓に「STANDBY」が表示されます。

3 録音用MDを入れる。



矢印の向きに差し込む

ラベル面を上

●「TRACK」が点滅しているときは…

録音済みの部分を消しながら録音しています。MDの空き（録音済みでない）部分に録音しているときは、「TRACK」が点灯しています。

●「TOC」が点滅しているときは…

録音した内容をMDに記録しているので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機をゆらしたりしないでください。正しく録音されないことがあります。録音のあとすぐに電源プラグを抜くと、録音した内容を記録できません。

こんなときは	操作のしかた
一時停止する*	>>PLAY/PAUSEボタン(リモコンではPAUSEボタン)を押す。 もう1度押すと、再び録音が始まる。
録音を止める	STOPボタンを押す。
MDを取り出す	OPENボタンを押す。

* 録音を一時停止すると、曲番は変わります。例えば、4曲目を録音中に一時停止したあと、再び録音を始めると、そこからは5曲目として録音されます。

4 INPUT(入力)スイッチを、録音したい音源に合わせる。

音源がつながっている端子	INPUTスイッチを合わせる位置
ANALOG LINE IN端子	ANALOG
DIGITAL IN端子	DIGITAL

5 録音を始める位置を決める。

- 新しいMDに録音するときは…
この手順はとばす。
- 録音済み部分の終わりから録音するときは…
この手順はとばす。または、「End」が表示されるまでAUTO MUSIC SKIPつまみを回す。
(リモコンでは◀または▶ボタンを押します。)
- 録音済みの曲を消しながら録音するときは…
その曲番が表示されるまで、AUTO MUSIC SKIPつまみを回す。
(リモコンでは◀または▶ボタンを押します。)

💡 手順5で、曲の途中から録音できます。
▶PLAY/⏸PAUSEボタン(リモコンでは▶ボタン)を押して、途中から録音したい曲を再生し、録音を始める所で、もう1回▶PLAY/⏸PAUSEボタン(リモコンでは⏸ボタン)を押します。このあと手順6以降を行います。ただし、表示窓に「PROGRAM」または「SHUFFLE」が点灯しているときは、曲の途中から録音できません。

6 REC(録音)ボタンを押す。 まだ録音は始まりません(録音待機状態)。

ご注意

手順6は、録音用MDを入れた後、「TOC Reading」の表示が消えてから、行ってください。「TOC Reading」が表示されているときは、RECボタンを押しても、正しく働かないことがあります。

7 手順4で「ANALOG」に合わせたときは、録音レベルを調節する。

REC LEVEL(録音レベル)つまみの目盛り4ぐらいが目安です。録音レベルをより正確に合わせたいときは、12ページをご覧ください。

8 録音をスタートします。

▶PLAY/⏸PAUSE(再生/一時停止)ボタンを押すと(リモコンでは▶ボタンを押すと)、録音がスタートします。

9 録音したい音源の演奏を始める。

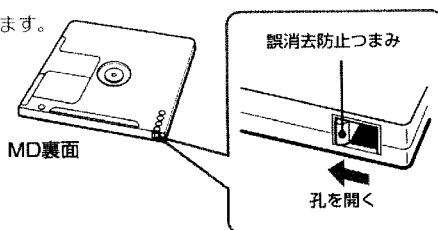
CDプレーヤーなど



10 録音をストップします。

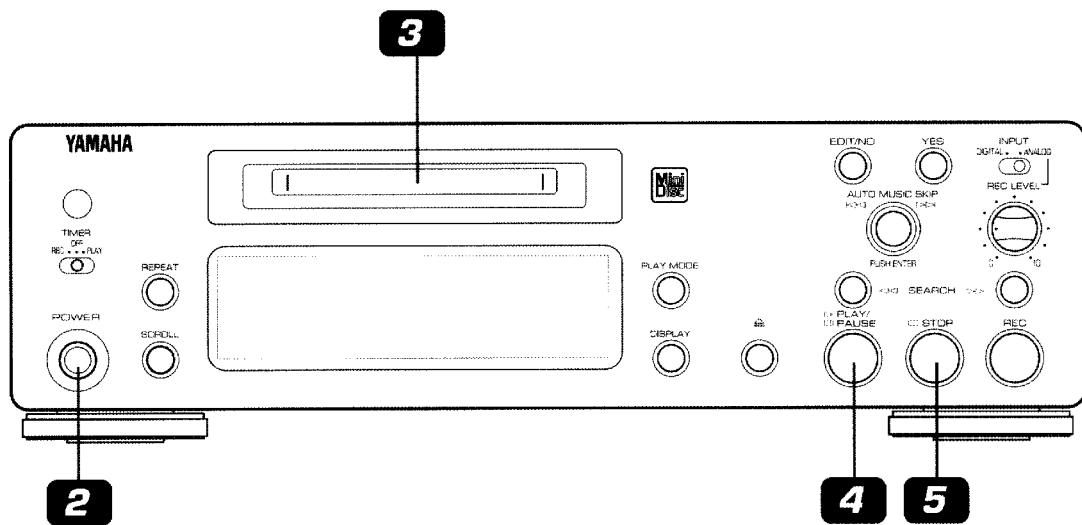
録音が終わったら、⏹STOP(停止)ボタンを押し、⏴(MD取り出し)ボタンを押してMDを取り出す。MDを取り出すかわりに、POWERスイッチを押して、電源を切ってもかまいません。

- 録音内容を間違えて消さないために
誤消去防止つまみをすらして、孔を開いた状態にします。再び録音するときは、つまみを元に戻します。

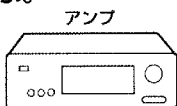




MDを再生する.....



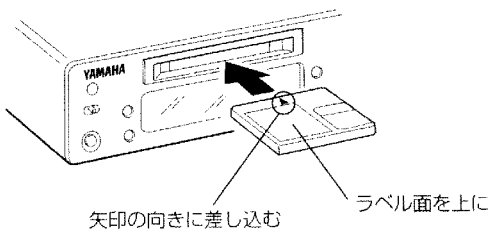
1 アンプの電源を入れ、入力切り換えでMDを選ぶ。



2 電源を入れる。

表示窓に“NO DISC”などが表示されます。
※ご購入後、初めて電源を入れたとき、またはACコードをコンセントから長時間抜いていた後に電源を入れたとき、表示窓に“STANDBY”が表示されます。

3 MDを入れる。



4 再生をスタートします。

▷PLAY/⏸PAUSEボタンを押す(リモコンでは▷ボタンを押す)と、再生がスタートします。
アンプで音量を調節します。

💡 手順4で、曲番を選んで再生を始めることができます。

- 1 再生したい曲番が表示されるまで、AUTO MUSIC SKIPつまみを回す。
- 2 AUTO MUSIC SKIPつまみ、また▷PLAY/⏸PAUSEボタンを押す。(リモコンでは▷ボタンを押します。)

5 再生をストップします。

◻STOPボタンを押すと、再生がストップします。

こんなときは	操作のしかた
一時停止する	▷PLAY/⏸PAUSEボタンを押す。 (リモコンでは⏸ボタンを押す。)もう一度押すと、再び再生が始まる。
次の曲へ進む	AUTO MUSIC SKIPつまみを右に回す。(リモコンでは▷ボタンを押す。)
前の曲へ戻る	AUTO MUSIC SKIPつまみを左に回す。(リモコンでは◀ボタンを押す。)
MDを取り出す	⏏ボタンを押す。



準備

箱から出したら

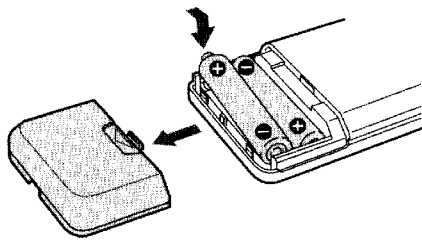
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- オーディオ接続コード(ピンプラグ×2) 2本
- リモコン
- 単3形乾電池SUM-3 2個
- 保証書

もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店にご連絡ください。

■ リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池2個(付属)を入れる。



乾電池の寿命は約6か月です

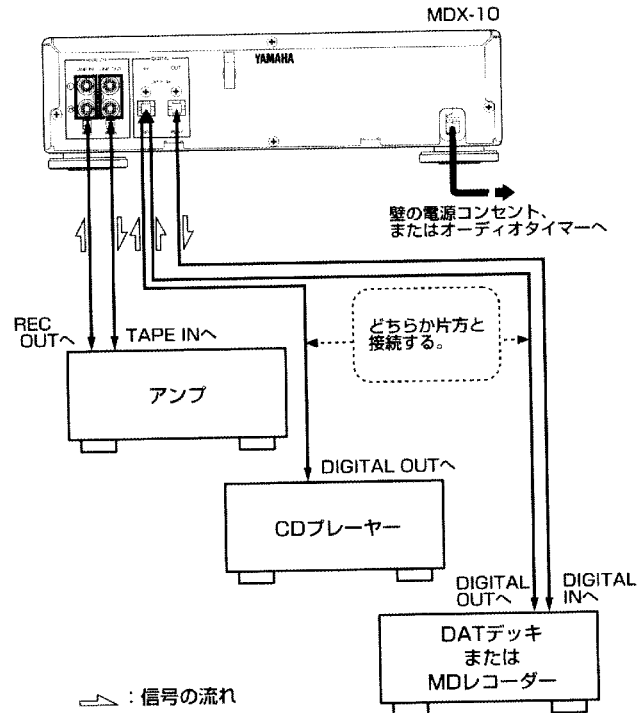
残りが少なくなると、リモコンで操作できる距離が短くなります。これを目安にして、2個とも新しい乾電池に交換してください。

ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

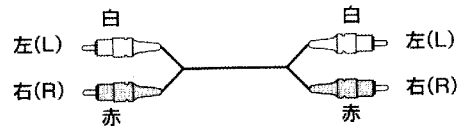
接続する

アンプ、CDプレーヤー、DATデッキなどとMDレコーダーをつなぎます。接続するときは、各機器の電源を必ず切ってください。

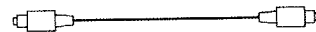


1. 必要な接続コードを用意する。

- オーディオ接続コード2本(付属)



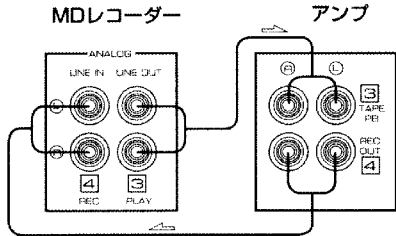
- オーディオ用光伝送ケーブル(市販)



2. つなぐ。

• アンプにつなぐとき

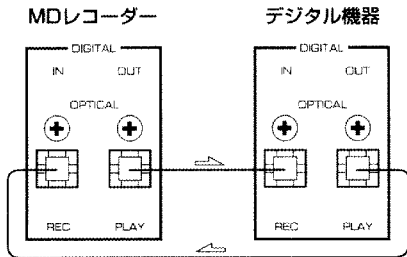
オーディオ接続コード(付属)を使います。
白(L)端子には白プラグを、赤(R)端子には赤プラグをつなぎます。つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。
ヤマハAX-10をご使用の場合は、[3]と[4]の番号がついた端子をそれぞれ接続してください。



⇒ : 信号の流れ

• デジタル機器につなぐとき(CDプレーヤーやDATデッキ、他のMDレコーダー、光デジタル入出力端子のあるアンプなど)

CDやMD、DATなどにつなぐと、デジタル録音できます。オーディオ用光伝送ケーブル(市販)を使います。端子についているキャップを抜いてから、プラグをしっかり差し込みます。



⇒ : 信号の流れ

3. 電源コードをコンセントにつなぐ。

壁の電源コンセント、またはオーディオタイマーにつなぎます。

ご注意

連動の電源コンセントにはつながないでください。

基本的な使いかたは、「MDに録音する」、「MDを再生する」(6~8ページ)をご覧ください。
その他の使いかたは、次のページからの説明をご覧ください。

ご注意

ミニディスク(MD)のサンプリング周波数(44.1kHz)と異なるものは、デジタル録音できません。

録音できないもの DAT (32kHz、48kHz)、衛星放送 (32kHz、48kHz) など

録音できるもの CD、MDソフト、DAT (44.1kHzのみ) など

録音できないときは、「Din Unlock」または「Cannot Copy」が表示されます。このときは、LINE IN端子につなぎ、INPUTスイッチを「ANALOG」に合わせて録音してください。



いろいろな録音のしかた

基本的な使いかたは、「MDに録音する」(6、7ページ)をご覧ください。

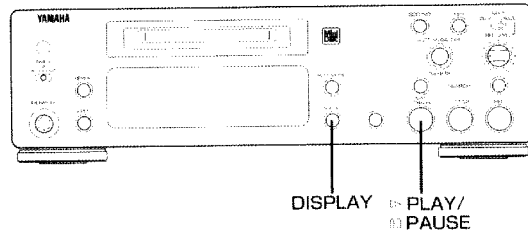
録音するときのご注意

- 「Protected」が表示されたときは…
MDが誤消去防止状態になっています。誤消去防止つまみをすらすして、孔が閉じた状態にすれば録音できます(「録音内容を間違っ
て消さないために」7ページ)。
- 「Din Unlock」が表示されたときは…
 - INPUTスイッチを「DIGITAL」に合せているのに、録音したい音源がデジタル入力端子につながっていないか、またはサンプリング周波数がMDの44.1kHzとは異なっています。INPUTスイッチを「ANALOG」に合わせるか、音源をデジタル入力端子につなぎ直してください。
 - デジタル録音中にデジタル信号の入力が中断しました。録音を続けるときは、音源をもう一度再生します。録音をやめるときは、本機のSTOPボタンを押します。
- 録音したい音源によって曲番の付きかたが異なります。
 - CDまたはMDが音源で、INPUTスイッチを「DIGITAL」に合せて録音する場合
曲番は、音源のCDやMDと同じように付きます。ただし、同じ曲を繰り返し録音するとき、繰り返した部分に対して、曲番は1つしか付かないことがあります。また、MDが音源のとき、4秒以下の曲には曲番が付かないことがあります。
 - 「LEVEL-SYNC」が点灯していないときに、INPUTスイッチを「ANALOG」、または、DATが音源でINPUTスイッチを「DIGITAL」にして録音する場合
録音した部分全体で1曲として扱うため、曲番は1つしか付きません。
曲番は、録音中または録音後に好きなところで付けることができます。また、アナログ録音、DATのデジタル録音中でも「LEVEL-SYNC」が点灯していれば自動で付けることができます(「録音中に曲番を付ける」12ページ、「曲を分ける」21ページ)。
- 「TOC」が点滅しているときは…
録音した内容をMDに記録しているので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機をゆらしたりしないでください。正しく録音されないことがあります。録音のあとすぐに電源プラグを抜くと、録音した内容を記録できません。
- 本機は「シリアルコピーマネージメントシステム」に準拠しています。
デジタル録音したMDをさらにデジタル録音することはできません(26ページ)。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

● お問い合わせ先 (社)私的録音補償金管理協会 Tel.03-3506-8407

録音するとき便利な機能



MDの残り時間を調べる

DISPLAYボタンを押す。

停止中： 押すたびに全録音時間→残り時間→ディスク名と表示が切り換わります(14ページ)。

録音中： 押すと残り時間が表示されます。

もう一度押すと、元の表示に戻ります。

オートカット 「Auto Cut」が表示されたときは…

INPUTスイッチを「DIGITAL」に合せて(デジタル入力端子につないである音源の)録音中、30秒以上の無音部分が続いたので、本機は録音一時停止状態になりました。このとき、曲間の約3秒を残して、あとの無音部分は自動的に消えます。

スマートスペース 「Smart Space」が表示されたときは…

INPUTスイッチを「DIGITAL」に合せて(デジタル入力端子につないである音源の)録音中、30秒以内の無音部分が続いたあと、信号が再び入力されました。このとき、本機は録音状態のまま曲間の約3秒を残して、あとの無音部分を自動的に消して録音します。

録音した曲を確認する

曲番を指定しなくても、今録音した曲の最初からすぐに再生して確認できます。

録音を止めたあと、すぐに▶PLAY/◀PAUSEボタンを押す。(リモコンでは▶ボタンを押します。)

今回録音を始めた最初の曲から再生します。

録音したあと、MDの最初から再生するとき…

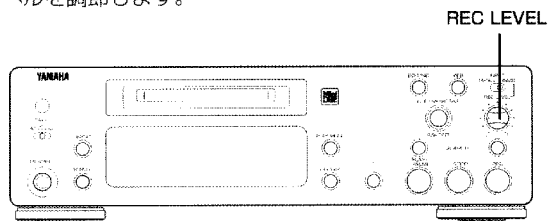
1. 停止中に、もう1回▶STOPボタンを押す。

2. ▶PLAY/◀PAUSEボタンを押す。
(リモコンでは▶ボタンを押します。)

MDの最初の曲から再生します。

録音レベルを調節する

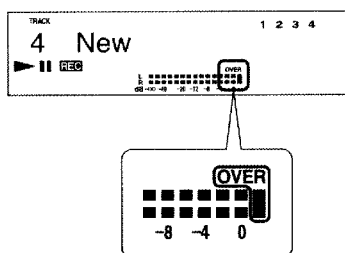
INPUTスイッチを「ANALOG」に合わせて(LINE IN端子につないである音源を)録音するときは、録音を始める前に録音レベルを調節します。



1. 「MDに録音する」(6、7ページ)の手順**1~6**を行う。

2. 録音レベルを調節する。

録音したい音源の、一番大きい音の(再生レベルの一番高い)部分を演奏します。この時、ピークレベルメーターの赤(OVER)が点灯しないようにREC LEVELつまみを回して録音レベルを調節します。(時々、点灯する程度なら実用上、問題ありません。)



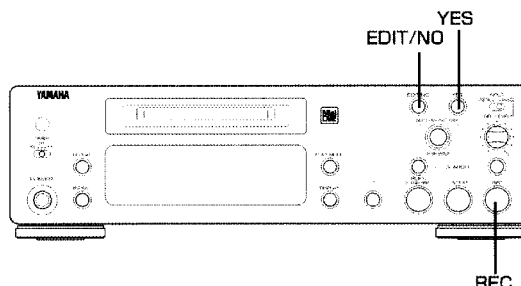
3. 演奏を止める。

4. 録音を始めるときは、「MDに録音する」(6、7ページ)の手順**8**から行う。

録音中に曲番を付ける

(トラックマーキング)

録音中に曲番を付けるには、自分で付ける方法と自動で付ける方法の2通りあります。曲番を付けておくと、再生時の頭出しをするときや、編集するときなどに便利です。



■ **自分で付ける**

(マニュアルトラックマーキング)

録音中いつでも曲番を付けることができます。

録音中、好きなところでRECボタンを押す。



曲番を付け間違えたときは...

曲の途中でRECボタンを押してしまったり、曲番を付け忘れた場合は、もう一度録音し直すか、録音後にCOMBINE機能(20ページ)やDIVIDE機能(21ページ)を使って、編集することもできます。

■ **自動で付ける**

(オートトラックマーキング)

録音したい音源がCDまたはMDで、INPUTスイッチを「DIGITAL」に合わせてある(デジタル入力端子につないである音源がCDまたはMDの場合とそうでない場合とで異なります)。

- 録音したい音源がCDまたはMDで、INPUTスイッチを「DIGITAL」に合わせてある場合曲番は自動的に付きます。
- 上記以外の場合
表示窓の「LEVEL-SYNC」が点灯していると、曲番は、録音したい音源の入力信号がある一定のレベル以下になって、次にそのレベルを超える入力信号が入ってきたときに、自動的に付きます。
「LEVEL-SYNC」が点灯していないときは、以下の操作をしてください。

- 録音または録音待機中、「LevelSync?」が表示されるまでEDIT/NOボタンを押す。
- YESボタンを2回押して、「LevelSyncON」を表示させる。「LEVEL-SYNC」が点灯します。

●オートトラックマーキングをやめるときは…

1. 録音または録音待機中、「LevelSync?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを押す。
2. YESボタンを押す。
3. 「LevelSyncOFF」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを押す。



録音後に曲番を付けることができます。

編集操作で曲を分けると、曲番が1番ずつ加算されて記録されます(「曲を分ける」21ページ)。

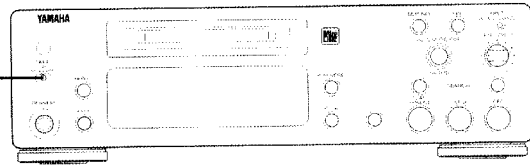
ご注意

INPUTスイッチを「ANALOG」に合わせてある場合と、録音したい音源がDATの場合は、録音したい音源の入力信号が2秒以上続けて一定のレベル以下にならないと曲番は付きません。

タイマーを使って録音する

市販のタイマーをつなぎ、希望の時刻に録音を始めることができます。タイマーの取扱説明書もご覧ください。

TIMER



1. 録音用MDを入れる。
2. アンプで録音したい音源を選ぶ。
3. 本機のTIMERスイッチを「REC」に合わせる。
4. タイマーを希望の時間に合わせる。

タイマーの開始/終了時間をセットします。本機の電源が切れた後、セットした時刻に録音が始まります。

5. 録音が終了したら…

本機のTIMERスイッチを「OFF」に合わせ、タイマーの電源を入れるなどして本機を必ず通電状態にする。

- TIMERスイッチを「REC」のままにしておくと、次に電源が入ったときに自動的に録音が始まってしまいます。
- 本機に通電されない状態が2、3日続くと、タイマー録音した内容が消えてしまうことがあります。

●タイマー録音した後、2、3日中に必ず本機を通電状態にしてください

通電状態にすると、録音された内容がMDに記録されます。

●タイマー録音した後に、本機を通電状態にしたら表示窓にSTANDBYの文字が点滅したときは…

タイマー録音した内容がすべて消えてしまっています。

ご注意

- タイマー録音のときは、すでに録音されている内容に続けて録音されます。
- タイマー録音で録音した内容は、次に電源を入れたときにMDに記録されます。このとき、「TOC」が点滅します。この間に本機をゆらしたり、電源を切ったりしないでください。
- タイマー録音中にMDの残り時間がなくなったときは、その時点で録音を中止します。

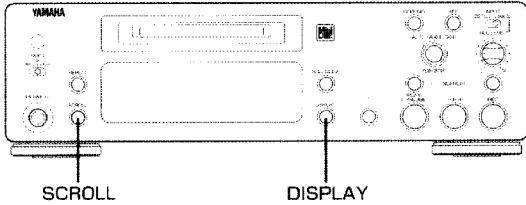


いろいろな再生のしかた.....

基本的な使いかたは、「MDを再生する」(8ページ)をご覧ください。

表示窓の使いかた

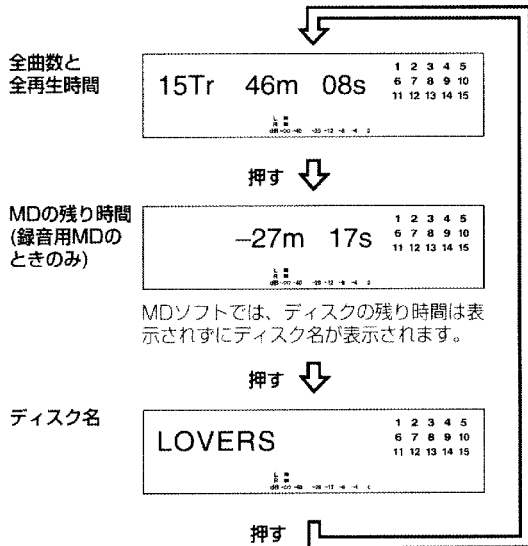
表示窓を使って、MDの全曲数や全再生時間、MDの残り時間、ディスク名などを調べることができます。



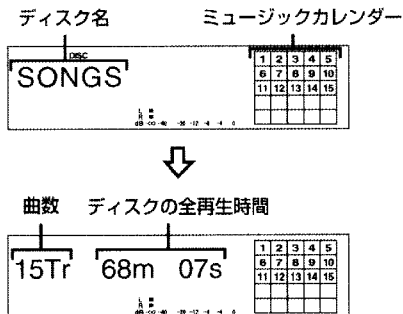
■ 全曲数や全再生時間、MDの残り時間、ディスク名を調べる

停止中にDISPLAYボタンを押す。

押すたびに、表示は次のようになります。



また、MDを入れたときにも、全曲数や全再生時間、ディスク名が表示されます。

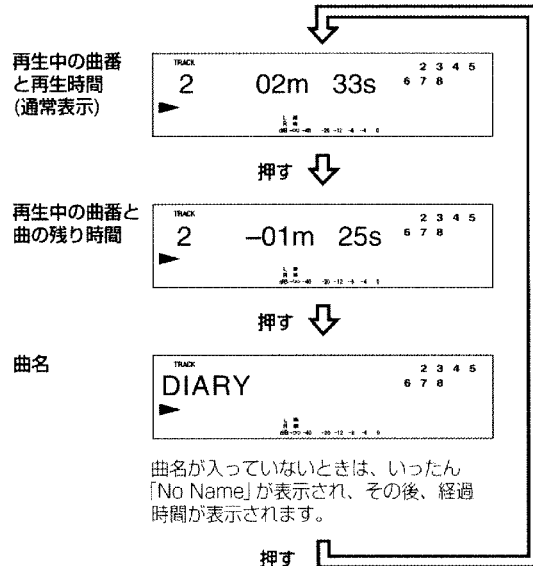


ミュージックカレンダーに曲番が表示されます。市販のMDソフトでは、ミュージックカレンダーには枠が表示されません。録音用MDでは枠が表示されません。25曲以上入っているときは、25の後に▶が表示されます。ディスク名を付けるには、「曲名やディスク名を付ける」(24ページ)をご覧ください。

■ 再生中に、曲の残り時間や曲名を調べる

再生中、DISPLAYボタンを押す。

押すたびに、再生中の曲の残り時間または曲名などが、次のように表示されます。再生し終わった曲番は、ミュージックカレンダーから消えていきます。



💡 再生中、いつでも曲名を見ることができます。

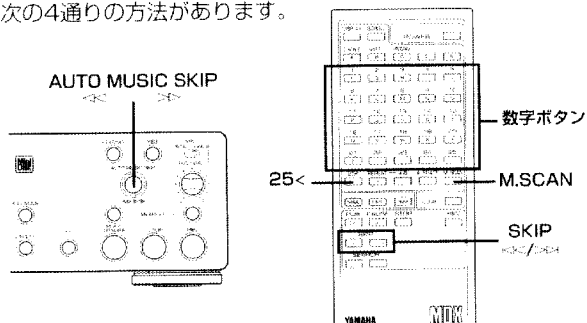
SCROLLボタンを押す。

スクロール中にSCROLLボタンを押すと、スクロールを止めることができます。もう1回SCROLLボタンを押すと、再びスクロールします。

聞きたい曲を探す

(オートミュージックスkip /
ダイレクト選曲 / ミュージックスキャン)

次の4通りの方法があります。



探しかた	操作のしかた
次の曲を頭出しする (オートミュージックスkip)	再生中、AUTO MUSIC SKIPつまみを右に回す。 (リモコンでは▶▶ボタンを押す。)
再生中の曲または前の曲を頭出しする(オートミュージックスkip)	再生中、AUTO MUSIC SKIPつまみを左に回す。 (リモコンでは◀◀ボタンを押す。)
曲番で直接選ぶ (ダイレクト選曲)	聞きたい曲番の数字ボタンを押す。
各曲の頭を聞いて探す (ミュージックスキャン)	1 停止中、M.SCANボタンを押す。 2 聞きたい曲になったら、▶ボタンを押す。

●曲の頭で一時停止するには…

一時停止中、AUTO MUSIC SKIPつまみを回す。
(リモコンでは◀◀または▶▶ボタンを押します。)

●MDの最後の曲から選ぶには…

MDの全曲数と全再生時間(14ページ)を表示しているときに、AUTO MUSIC SKIPつまみを左へ回す。
(リモコンでは◀◀ボタンを押します。)

💡ダイレクト選曲で、25曲目以降を選ぶときは

25<ボタンを押してから、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタン(1~10)を押します。(0は10ボタンを使います。)100曲目以降を選ぶときは、25<ボタンを2度押してから、100の位、10の位、1の位の数という順に数字ボタン(1~10)を押します。

例：30曲目を選ぶとき

数字ボタンを、25< → 3 → 10の順に押す。

例：100曲目を選ぶとき

数字ボタンを、25< → 25< → 1 → 10 → 10の順に押す。

💡ミュージックスキャンで、各曲の再生時間を長くしたいときは

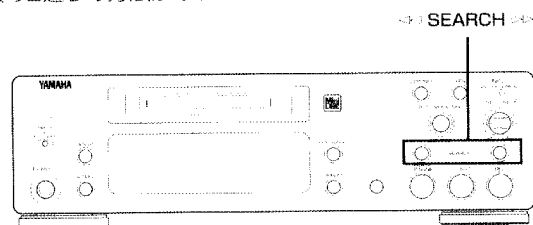
停止中、希望の時間が表示されるまで、M.SCANボタンを押す。各曲の再生時間は6秒または10秒、20秒の中から選べます。押すたびに、表示は次のように変わります。

▶ M. SCAN 06s (6秒) → M. SCAN 10s (10秒) → M. SCAN 20s (20秒)

曲の中の聞きたい部分を探す

(サーチ)

次の2通りの方法があります。



探しかた	操作のしかた
「再生中に探す」 聞きながら探す	再生中、SEARCH◀▶または▶▶ボタンを押したままにする。
「一時停止中に探す」 表示窓の再生時間を見ながら探す(高速サーチ)	一時停止中、SEARCH◀▶または▶▶ボタンを押したままにする。(音は聞こえない。)

💡高速サーチで、「OVER」と表示されたときは

最後の曲の終わりまで進んでしまったので、AUTO MUSIC SKIPつまみを左へ回すか、SEARCH◀▶ボタンを押す。
(リモコンでは◀◀または▶▶ボタンを押します。)

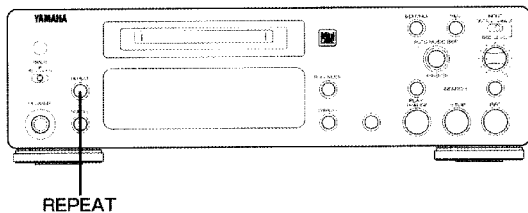
ご注意

- 聞きながら探している(高速サーチでない)とき、最後の曲の終わりまで進んでしまうと、再生は止まります。
- 数秒の曲が連続している場合、正常にサーチできないことがあります。

繰り返し聞く

(リピート再生)

全曲、または1曲だけを繰り返し聞けます。シャッフルやプログラム再生など繰り返し再生できます。



■ 全曲を繰り返す

再生中、REPEATボタンを押す。

「REPEAT」が表示され、次のように繰り返し聞けます。

再生状態	繰り返される内容	繰り返される内容
ふつうの再生(8ページ)		全曲を曲番順に
シャッフル再生(16ページ)		全曲を繰り返すたびに曲順を変えて
プログラム再生(17ページ)		プログラムした曲順に

● リピート再生をやめるときは…

「REPEAT」が消えるまで、REPEATボタンを押す。

■ 1曲だけを繰り返す(1曲リピート)

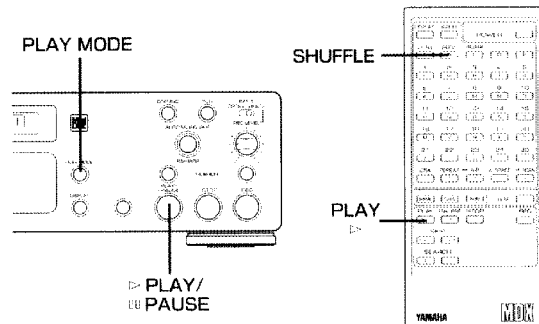
ふつうの再生のとき、1曲だけを繰り返し聞けます。

繰り返す曲の再生中、「REPEAT 1」が表示されるまでREPEATボタンを押す。

順不同に聞く

(シャッフル再生)

全曲を曲番に関係なく、本機がランダム(無作為)に選んで、ひと通り再生します。



1. 停止中、「SHUFFLE」が表示されるまでPLAY MODEボタンを押す。

(リモコンではSHUFFLEボタンを押します。)

2. ▷PLAY/PAUSEボタンを押す。

(リモコンでは▷ボタンを押します。)

シャッフル再生が始まります。

次の曲を選んでいる間は、□が表示されます。

● シャッフル再生をふつうの再生に戻るときは…

停止中、「SHUFFLE」が消えるまでPLAY MODEボタンを押す。

(リモコンではCONTINUEボタンを押します。)



シャッフル再生中に頭出しできます。

AUTO MUSIC SKIPつまみを回す。

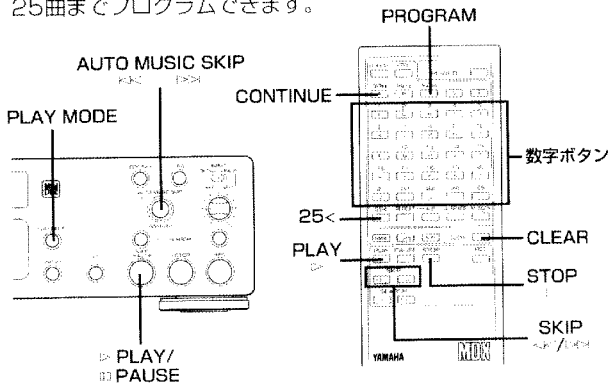
(リモコンでは◀▶または▶▶ボタンを押します。)

- 右に回す(▶▶を押す)と、次の曲をシャッフルして再生します。
- 左に回す(◀▶を押す)と、再生中の曲の頭に戻って再生します。すでに再生し終わった曲には戻りません。

聞きたい曲を好きな順に聞く

(プログラム再生)

25曲までプログラムできます。



●プログラム再生をふつうの再生に戻すときは…
停止中、「PROGRAM」が消えるまでPLAY MODEボタンを押す。(リモコンではCONTINUEボタンを押します。)

💡 同じ曲を繰り返しプログラムできます。
AUTO MUSIC SKIPつまみで曲番を表示させ、プログラムしたい回数だけAUTO MUSIC SKIPつまみを押す。

💡 プログラムすべての再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。
▶PLAY/PAUSEボタンを押すと、同じプログラムをもう1度聞けます。(リモコンでは▶ボタンを押します。)

ご注意
合計時間が「- - -」と表示されたときはプログラムの合計時間が100分を超えています。

1. 停止中、「PROGRAM」が表示されるまで、PLAY MODEボタンを押す。

(リモコンではPROGRAMボタンを押します。)

2. 曲番を選ぶ。(aまたはb)

a) リモコンで操作するとき
聞きたい順に曲番の数字ボタンを押していく。
選んだ曲がプログラムされます。

25曲目以降を選ぶときは
25< ボタンを使う(15ページ)。

間違えたときは
CLEARボタンを押してから、正しい数字ボタン押す。

b) 本体で操作するとき
合計時間を確かめながらプログラムできます。

1. 聞きたい曲番が表示されるまで、AUTOMUSIC SKIPつまみを回す。
2. AUTO MUSIC SKIPつまみ、またはPLAY MODEボタンを押す。
選んだ曲がプログラムされます。

3. 手順2を繰り返して、聞きたい曲を順にプログラムする。

曲をプログラムすることに、合計時間が表示されます。
最大25曲までプログラムできます。

4. ▶PLAY/PAUSEボタンを押す。

(リモコンでは▶ボタンを押します。)
プログラムした順に再生が始まります。

■ プログラムの内容を確認する

停止中または再生一時停止中、AUTO MUSIC SKIPつまみを回す。
(リモコンでは◀または▶ボタンを押します。)
プログラムの曲順で、曲番が表示されます。

■ プログラムの内容を変更する

再生を始める前、プログラムの内容を変更できます。

変更のしかた	操作のしかた
最後の曲から消す	CLEARボタンを押す。 押すたびに、プログラムした最後の曲から消える。
最後に追加する	手順2以降の操作をする。
すべてを変更する	1 停止中、◻STOPボタンを押す。 プログラムが全部消える。 2 手順2以降の操作をする。

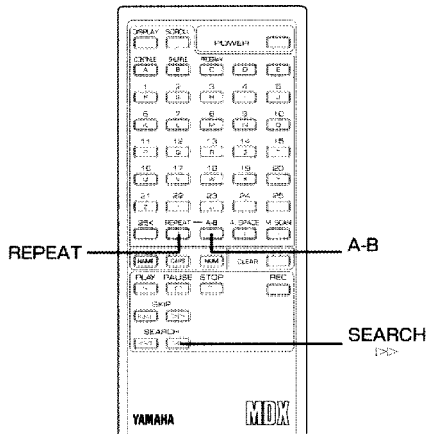
いろいろな再生のしかた



聞きたい部分を繰り返し聞く

(A—Bリピート)

聞きたい部分を指定して、繰り返し聞けます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。2曲以上にまたがった部分は、繰り返し聞けません。



1. 始点(A点)を設定する。

再生中に、繰り返す部分の始点(A点)で A — B ボタンを押す。
「REPEAT A — B」の「A — B」が点滅します。

2. 終点(B点)を設定する。

再生を続けるか SEARCH >>> ボタンで繰り返す部分の終点(B点)まで行き、もう1回 A — B ボタンを押す。
「REPEAT A — B」の「A — B」が点灯になり、指定した部分を繰り返します。

- A — B リピートをやめるときは…
REPEAT ボタンを押す。

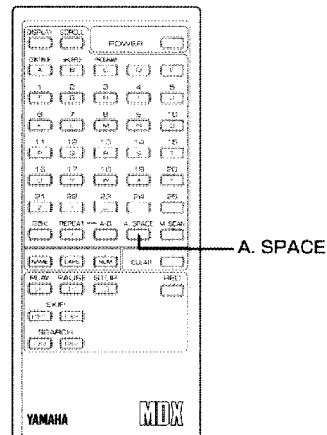
■ 繰り返す部分を次に進める

いままで繰り返していた部分の終点を始点に変えて、繰り返す部分を先に進めることができます。

1. A — B リピート中、A — B ボタンを押す。
いま繰り返していた部分の終点(B点)が次の部分の始点(A点)になり、「REPEAT A — B」の「A — B」が点滅します。
2. 再生を続けるか、>>> ボタンで次に繰り返す部分の終点(B点)まで行き、もう1度 A — B ボタンを押す。
「REPEAT A — B」の「A — B」が点灯になり、新たに指定した部分を繰り返します。



テープへ録音するときに 便利な機能



■ 聞きやすい曲間隔にする

(オートスペース)

再生時に、曲と曲の間に3秒の空き(スペース)を入れることができます。曲の頭出しのできるテープを作るときに便利です。

「A.SPACE」が表示されるまで、A.SPACE ボタンを押す。

- オートスペースをやめるときは…
「A.SPACE」が消えるまで、A.SPACE ボタンを押す。

ご注意

シンフォニーなど、曲間のあきがなく曲番号だけ変わるディスクでオートスペースを使用すると、曲番号が変わるところで音が途切れることがあります。

■ 1曲再生するたびに一時停止する

(オートポーズ)

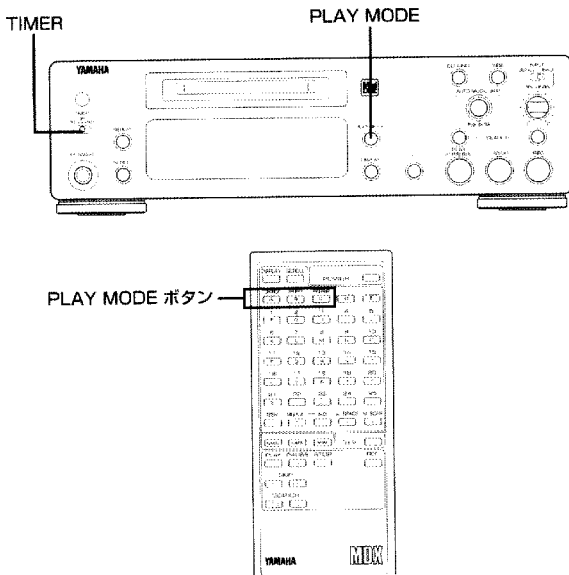
1曲再生が終わるたびに、自動的に一時停止します。
1曲だけまたは連続しない数曲をテープなどへ録音するとき便利です。

「A.PAUSE」が表示されるまで、A.SPACE ボタンを押す。

- 再び再生を始めるときは…
>>>PLAY/PAUSE ボタンを押す。(リモコンでは00 ボタンを押します。)
- オートポーズをやめるときは…
「A.PAUSE」が消えるまで、A.SPACE ボタンを押す。

タイマーを使って再生する

市販のタイマーをつなぎ、希望の時刻に再生を始めることができます。タイマーの取扱説明書もご覧ください。



1. 再生の種類を選ぶ。

再生したいMDを入れ、PLAY MODEボタンを何回か押して(リモコンではPLAY MODEボタンのどれかを押して)再生の種類を選びます。

2. 本機のTIMERスイッチを「PLAY」に合わせる。

3. タイマーを希望の時間に合わせる。

タイマーの開始/終了時間をセットします。本機の電源が切れた後、セットした時刻に再生が始まります。

4. 再生が終了したら…

本機のTIMERスイッチを「OFF」に合わせる。

ご注意

- 手順1でプログラム再生を選んだときは、電源が入っていない状態で長時間たつと、作ったプログラムが消えることがあります。このときには、曲番順に再生します。



録音したMDを編集する.....

編集するときの注意

編集機能では録音したディスクの好きなところで頭出しができるように曲を途中から分けたり、連続した2つの曲をつないだりして録音後の手直しができます。さらに、曲番を指定するだけで曲をまるごと消したり、ディスクや曲に名前を付けたりすることもできます。

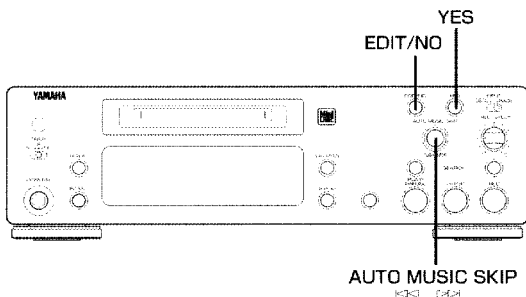
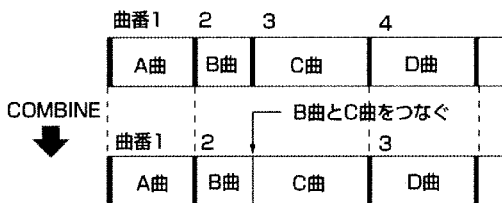
- **「Protected」が表示されたときは...**
ディスクが誤消去防止状態になっていて、曲を消すことができません。ディスクの誤消去防止つまみをずらして孔が閉じた状態にしてから、曲を消してください。
- **編集を行った後は、表示窓の「TOC」が点灯しています**
ディスクを取り出そうとするか、電源を切ろうとすると、「TOC」が点滅になり、編集した内容をディスクに記録します。「TOC」が点滅中は、編集した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

曲をつなぐ

コンバイン (COMBINE機能)

連続した2つの曲をつないで1曲にまとめます。いくつかの曲を続けて聞けるようにしたり、何度も停止してコマ切れで録音したものを1つにまとめたりするときなどにお使いください。

例) B曲とC曲をつなぐとき



1. つなぐ曲を選ぶ。

つなぐ曲の曲番が表示されるまでAUTOMUSICSKIPつまみを回します。表示した曲を1つ前の曲とつなぎます。例えば、3曲目と4曲目をつなぐときは、4曲目を表示させます。

2. 「Combine ?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを数回押す。

3. YESボタンを押す。

「Rehearsal」と「Track ok?」が交互に表示されて、つなぎ目(1曲にする前の曲の終わりと後ろの曲の初め)の部分を繰り返し再生します。ミュージックカレンダーでは、つなぐ2曲の曲番が点滅します。つなぎ目の部分を再生していないときにEDIT/NOボタンを押すと、曲をつなぐのを途中でやめることができます。

4. コンバイン COMBINEを実行する。

つなぎ目の部分を再生しているときは、YESボタンを押して、コンバインを実行します。「Complete」が数秒間表示されて消えると、曲がつながります。つないだ2曲の両方に曲名がついているときは、後の曲名は消えます。ミュージックカレンダーでは、1曲分減ります。

- **曲をつなぐのを途中でやめるときは...**
EDIT/NOまたはSTOPボタンを押す。

💡 **つないだ曲をもとに戻せます。**
DIVIDE機能を使って曲を分けます(21ページ)。

ご注意

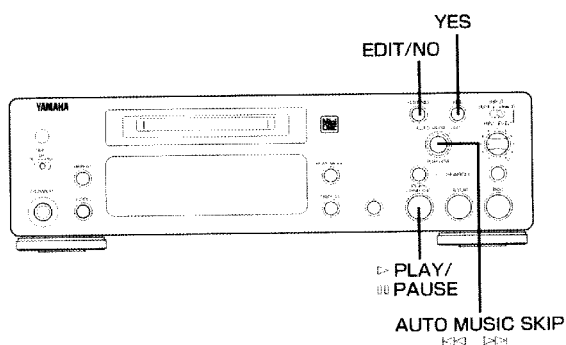
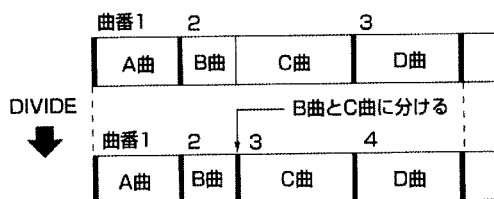
「Sorry」が表示されたら、その2曲は1曲につなぐことができません。
何度も編集を繰り返すと、つなぐことができない曲ができる場合があります。これはミニディスクのシステム上の制約なので故障ではありません。

曲を分ける

ディバイド (DIVIDE機能)

録音後に1曲を2つの曲に分け、新たに頭出しのための曲番を記録します。アナログ録音したMDなどで1つの曲番に複数の曲が録音されている場合や、曲の途中で頭出し点をつくるときに使用します。分けた曲以降の曲番は順に1番ずつ加算され、自動的に改めて連続した曲番が付きます。

例) 2曲目をB曲とC曲の2つに分けるとき



1. 曲を分けるところで一時停止する。

再生中に、曲を分けるところで▶PLAY/⏸PAUSEボタン(リモコンでは⏸ボタン)を押して、再生を一時停止します。

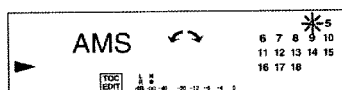
2. 「Divide?」が表示されるまでEDIT/NOボタンを数回押す。

3. YESボタンを押す。

「Rehearsal」と「Position ok?」が交互に表示され、2つに分けた後半の頭の部分を繰り返し演奏します。ミュージックカレンダーでは、分ける曲の曲番が点滅します。

4. 分けるところを再生していないとき(希望した位置よりずれているとき)は、EDIT/NOボタンを押す。

(分けるところを再生しているときは、手順7の操作に移ります。)



5. 少しずつ分けるところをずらす。

「Rehearsal」と「Position ok?」が交互に表示されて、分けるところを繰り返し再生します。繰り返し再生される音を聞きながら、AUTO MUSIC SKIPつまみを回して、少しずつ分けるところをずらします。その曲(1曲)の中だけで最大-128から+127まで移動できます(±01は約0.06秒)。

6. 分けるところを再生していないときは、手順5を繰り返す。

7. ディバイド DIVIDEを実行する。

分けるところを再生しているときは、YESボタンまたはAUTO MUSIC SKIPつまみを押してディバイドを実行します。「Complete」が数秒間表示されて消えると、曲が分かります。分かれ目の次の曲の頭から再生が始まります。

分かれた曲に曲名が付いているときは、後の曲には曲名が付きません。

ミュージックカレンダーでは、1曲分増えます。

● 曲を分けるのを途中でやめるときは…

□STOPボタンを押す。

💡 1度分けた曲をもとに戻せます。
COMBINE機能を使って曲をつなぎます(20ページ)。

💡 録音中に曲に分けられます。
トラックマーキング機能を使って曲を分けます(12ページ)。

録音したMDを編集する.....

曲を消す

イレース
(ERASE機能)

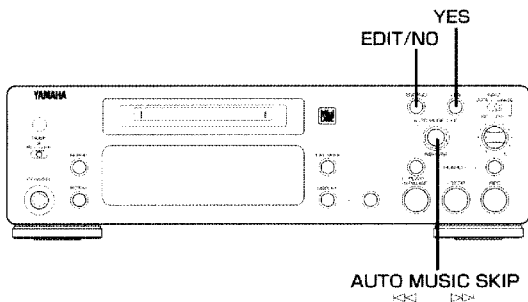
消したい曲の曲番を指定するだけで、録音した曲を簡単に消せます。録音したディスクを消すには、次の3通りの方法があります。

- 1曲ずつ消す
- 1枚のMDのすべての曲を消す
- 1曲中の一部分を消す

消した曲番には次の曲が順に繰り上がり、自動的に改めて連続した曲番が付きます。

例えば、曲番1を消すと、元の曲番2が1に繰り上がります。(2曲以上消すときは、途中の曲番が変わらないように、後ろの曲から消すことをおすすめします。)

カセットテープのように録音済みの曲を消しながら録音する必要はありません。



■ 1曲ずつ消す

曲番を指定するだけで、1曲をまるごと消せます。

例) B曲を消すとき



1. 消す曲の曲番が表示されるまで、AUTO MUSIC SKIPつまみを回す。
2. 「Erase?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを数回押す。
ミュージックカレンダーの中の消したい曲の曲番が点滅します。

3. YESボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示されて消えると、手順1で選んだ曲が消えます。ミュージックカレンダーでも、1曲分減っています。

再生していたときは、消した次の曲の再生が始まります。

4. 続けて曲を消すときは、手順1から3を繰り返す。

● 曲を消すのを途中でやめるときは...

EDIT/NOまたはSTOPボタンを押す。またはAUTO MUSIC SKIPつまみを回して曲番を変え、表示窓の「Erase?」を消す。

ご注意

「Erase!!?」が表示されたら、その曲は本機以外のMDレコーダーで録音または編集された後、誤消去防止状態になっています。

それでも消したいときは、この表示が出ている間にYESボタンを押します。

■ 1枚のMDのすべての曲を消す

1度に、MDの全曲と全曲名、ディスク名(MDに記録しているすべての内容)を消せます。いったん消すと元に戻せないので、確認してから行ってください。

1. 停止中、「All Erase?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを数回押す。
2. YESボタンを2回押す。
ミュージックカレンダーの曲番すべてが点滅します。
3. もう一度YESボタンを押す。
「Complete」が数秒間表示されて消えると、MDの全曲と全曲名、ディスク名が消えます。ミュージックカレンダーでは、全曲消えます。

● 曲を消すのを途中でやめるときは...

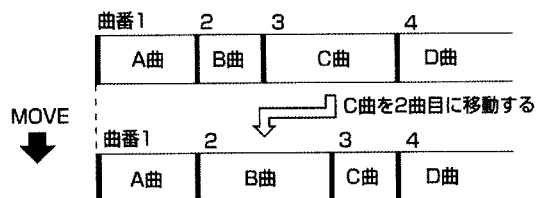
EDIT/NOまたはSTOPボタンを押して、表示窓の「All Erase?」を消す。

曲を移動する

ムーブ機能 (MOVE機能)

ある曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。移動後の曲番は、自動的に改めて連続した曲番が付きます。

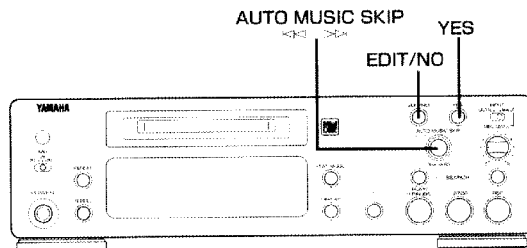
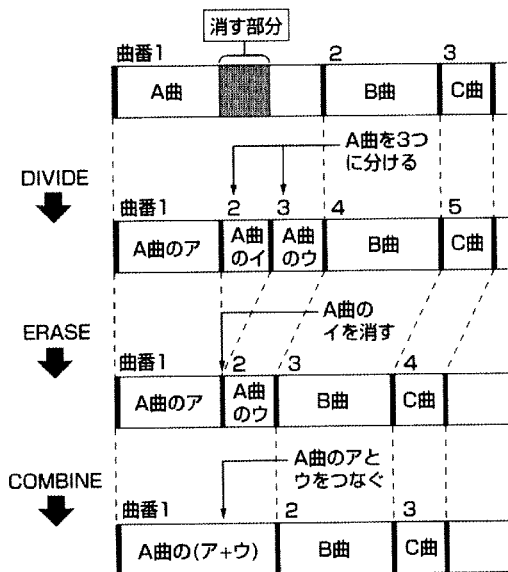
例) C曲を2曲目に移動するとき



1曲中の一部分を消す

曲を分ける(DIVIDE: 21ページ)、曲を消す(ERASE: 22ページ)、曲をつなぐ(COMBINE: 20ページ)の3つの機能を組み合わせて使い、1曲中の一部分だけを消せます。

例) A曲の一部分を消すとき



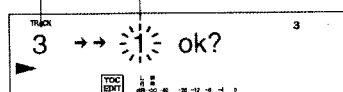
1. 移動する曲を選ぶ。

移動したい曲の曲番が表示されるまで、AUTO MUSIC SKIPつまみを回します。

2. 「Move ?」が表示されるまで、EDIT/NO ボタンを数回押す。

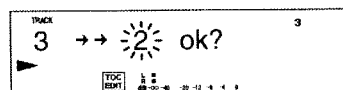
3. YESボタンを押す。

移動する曲の曲番 移動先の曲番



4. 移動先の曲番を選ぶ。

移動先の曲番が表示されるまで、AUTO MUSIC SKIPつまみを回します。



5. ムーブを実行する。

YESボタンまたはAUTO MUSIC SKIPつまみを押し、ムーブを実行します。「Complete」が数秒間表示されて消えると、曲が移動します。再生していたときは、移動した曲が再生されます。

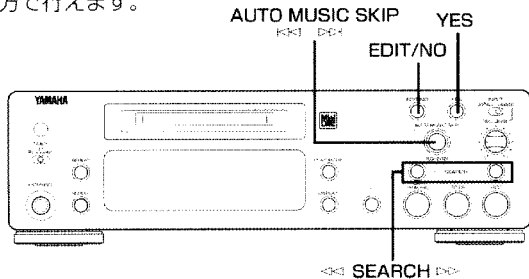
- 曲を移動するのを途中でやめるときは…
- STOPボタンを押す。

録音したMDを編集する.....

曲名やディスク名を付ける

タイトル (TITLE機能)

アルファベットの大文字や小文字、数字、記号を使って、曲名やディスク名を付けることができます。1枚のMDに計約1700文字を入力できます。この操作は、本体とリモコンの両方で行えます。



再生中または再生一時停止中、録音中、停止中に行います。再生中は、その曲が終わるまでに曲名を付け終わってください。途中で曲が終わると、それまで入力していた文字は無効になります。

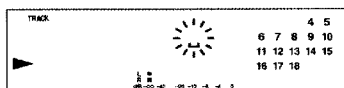
1. 「Name in?」が表示されるまでEDIT/NOボタンを数回押す。

付けるタイトルが、曲名かディスク名かで、操作するときが異なります。次の表にしたがって操作してください。

付けるタイトル	操作するとき
曲名	再生中、再生一時停止中、録音中
ディスク名	停止中

2. YESボタンを押す。

カーソルが点滅します。

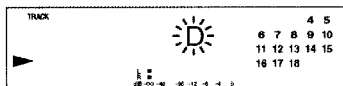


3. 文字を選ぶ。

希望の文字が表示されるまで、AUTO MUSIC SKIPつまみを回します。選んだ文字が点滅します。"┐"の点滅はスペースを意味します。

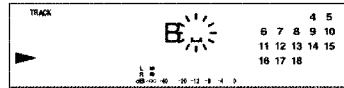
アルファベットの次に数字、記号が出ます。表示できる記号は以下の通りです。

! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ _



4. AUTO MUSIC SKIPつまみを押す。

手順3で選んだ文字が点灯になり、次の位置でカーソルが点滅します。



5. 手順3と4を繰り返して、希望のタイトルを表示させる。

●間違えた文字を修正するときは...

SEARCH<<または>>ボタンで間違えた文字を点滅させ、手順3と4を繰り返します。

●文字を消すときは...

SEARCH<<または>>ボタンで消したい文字を点滅させ、EDIT/NOボタンを押す。

●スペースを入力するには...

カーソルが点滅した状態のまま、AUTO MUSIC SKIPつまみまたはSEARCH<>ボタンを押す。

6. YESボタンを押す。

曲名またはディスク名が付きます。

曲名またはディスク名が最初から表示されます。

●タイトルを付けるのを途中でやめるときは...

□STOPボタンを押す。

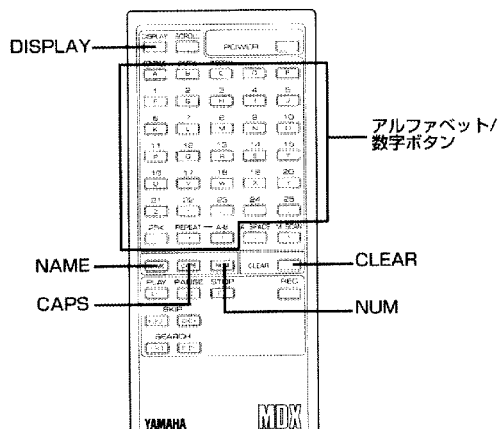
ご注意

録音済み部分を消しながら録音しているときは、録音中、曲名を付けることはできません。

■ リモコンで曲名やディスク名を付ける



再生中または再生一時停止中、録音中、停止中に行います。



1. NAMEボタンを押す。
カーソルが点滅します。
付けるタイトルが、曲名かディスク名かで、操作するときが異なります。次の表にしたがって操作してください。

付けるタイトル	操作するとき
曲名	再生中、再生一時停止中、録音中
ディスク名	停止中

2. CAPSまたはNUMボタンを押して、文字の種類を選ぶ。

文字の種類	操作のしかた
小文字 アルファベット	「Selected abc」が表示されるまで、CAPSボタンを押す。
大文字 アルファベット	「Selected ABC」が表示されるまで、CAPSボタンを押す。
数字	「Selected 123」が表示されるまで、NUMボタンを押す。

3. 希望の文字のアルファベット/数字ボタンを押す。
押したボタンの文字が表示され、次の位置でカーソルが点滅します。
4. 手順2と3を繰り返して、希望のタイトルを表示させる。
● 間違えた文字を修正するときは…
SEARCH<<または>> ボタンで間違えた文字を点滅させ、CLEARボタンを押してから手順2と3を繰り返す。
5. もう1回NAMEボタンを押す。
曲名またはディスク名が最初から表示されます。
- タイトルを付けるのを途中でやめるときは…
□STOPボタンを押す。

■ 曲名やディスク名を変更する



1. NAMEまたはDISPLAYボタンを押す。
曲名またはディスク名が表示されます。
変更するタイトルが、曲名かディスク名かで、操作するときが異なります。次の表にしたがって操作してください。
2. 消すタイトルの文字がすべて消えるまで、CLEARまたは本体のEDIT/NOボタンを押したままにする。
3. 曲名やディスク名を付け直す。
「曲名やディスク名を付ける」の手順3~5(24ページ)を行うか、または、「リモコンで曲名やディスク名を付ける」の手順2~4(25ページ)を行う。
4. NAMEボタンを押す。

■ すべての曲名とディスク名を消す

ネーム イレース
(Name Erase 機能)

1度に、ディスク中のすべての曲名やディスク名を消せます。いったん消すと、元に戻せません。

1. 停止中、「All Erase?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを押す。
2. もう1回EDIT/NOボタンを押す。
「Name Erase?」が表示されます。
3. YESボタンを押す。
すべての曲名とディスク名が消えます。
- すべての曲名とディスク名を消すのを途中でやめるときは…
□STOPボタンを押す。

💡 1枚のMDの内容(曲と曲名、ディスク名)をすべて消せます。
「1枚のMDのすべての曲を消す」(22ページ)をご覧ください。



その他

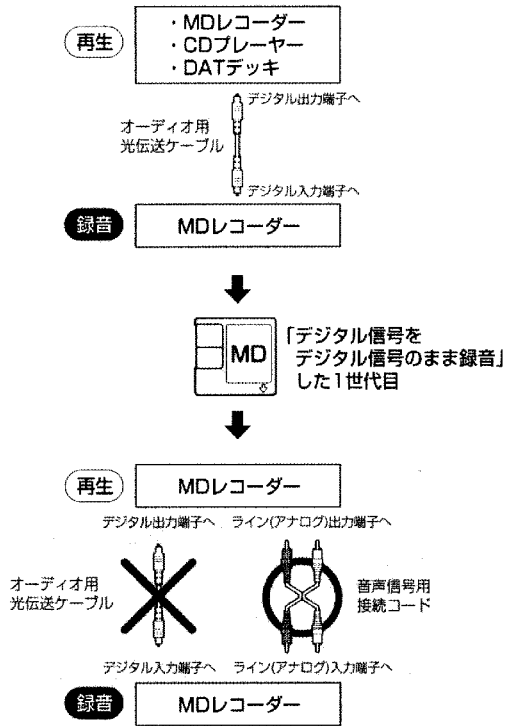
デジタル録音のルール

(シリアルコピーマネージメントシステム)

デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル録音することはできません。本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」というデジタル信号どうしのコピーを「1世代まで」と規制したものです。2つの原則があります。

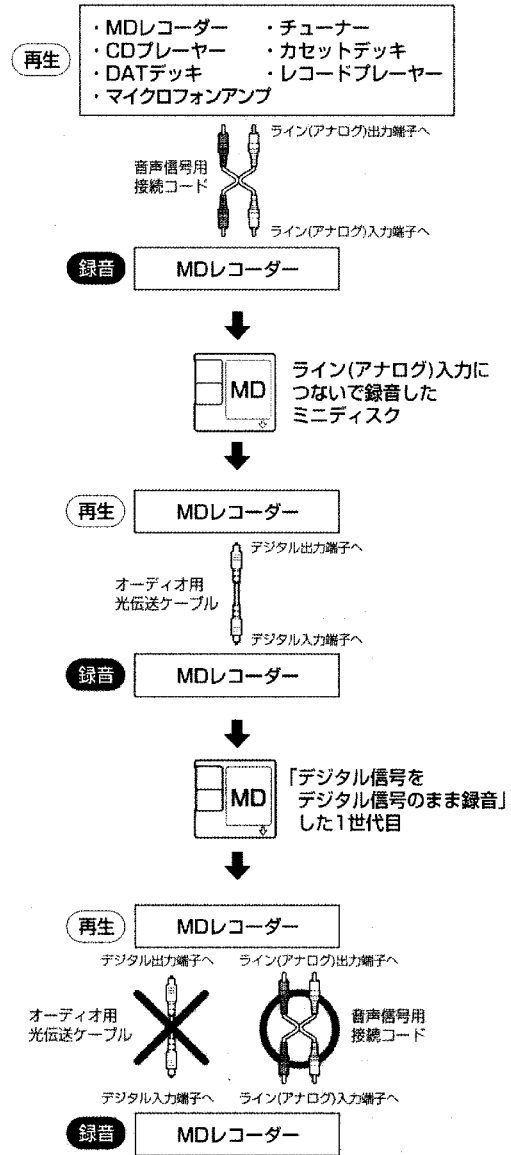
● 原則1

コンパクトディスク(CD)またはデジタルオーディオテープ(DAT)、ミニディスク(MD)ソフトから、MDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したものを、他のMDへ、「デジタル信号のままデジタル録音」できません。



● 原則2

アナログレコードやFM放送などを本機で録音したMDから、他のMDへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することができます。ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したミニディスクから、他のミニディスクへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。



MDレコーダーどうしをアナログ端子につないだときは、何回でも録音できます。

システム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ 最大録音可能時間(60分、74分)に達していなくても、「Disc Full」が表示される。

MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。255曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚目のMDに分けて録音してください。

■ 曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。

曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。

■ 短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。

MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視するので、短い曲を消しても時間が加算されないことがあります。

■ 曲をつなげない。

編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。

■ MDに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分)に一致しない場合がある。

通常、1クラスタ(約2秒)が最小単位で録音されます。それに満たないもので2秒分のスペースを使います。このため、実際に使用できる時間は少なくなります。

また、MDに傷があると、その部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

■ 編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。

■ 曲番が正確につかないことがある。

デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。

また、LevelSync ONで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するもの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。

■ 「TOC Reading」の表示がなかなか消えない。

購入したばかりの録音用MDを入れると、通常より「TOC Reading」表示が長く表示されます。

■ 録音済みの部分を消しながら録音すると

- MDの残り時間が正確に表示されないことがあります。
- 何度も繰り返すと、消しながら録音できなくなることがあります。このようなときは、編集(曲を消すなど)を行ってから録音してください。
- 録音した時間に対して、録音後の残り時間が、録音前の残り時間よりもかなり減ってしまうことがあります。
- 曲の途中のノイズなどをこの方法で消すと、曲の長さが変わったりしてしてしまうので適しません。
- 録音中に曲名を付けることができません。

● モノラルフォーマットのディスクでは時間が正確に表示されないことがあります。

どうも意味？
 カタログには「本機はモノラルフォーマットのディスクには再生のみ対応します」
 → リニア録音の機種の中にステレオ/モノの録音切替付のものがある。
 「モノ」で録音した場合、多少の録音は実質モノ録音が可能になる。
 リニア録音中には、モノ録音を再生できるものとできないものがある。
 モノからステレオに切替えて録音(おかしな時、モノ再生可能はモノはできるが不可のモノはできない)。
 どうも意味：Bchのみは番号を入れているが、どうも機種は両方両方鏡みにいく為、プログラム上進行しない。

リニア録音

東京 03-5448-3311

大阪 06-251-5111

名古屋 052-232-2611

メッセージ表示一覧

お使いになっているとき、状況により、英語のメッセージが出ます。日本語の意味は下の表の通りです。

メッセージ	意味
Blank Disc	購入したばかりの録音用MD、または全曲を消去した録音用MDが入っている。
Cannot Copy	デジタル録音できない状態になっている(「デジタル録音のルール」26ページ)。
Cannot EDIT	PROGRAM、SHUFFLE演奏のモードで編集しようとした。またMDに漢字/カナコードが入っている。
Din Unlock	デジタル録音できない状態になっている(「録音するときのご注意」11ページ)。
Disc Error	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。
Disc Full	MDの残り時間がないため、録音できない(「システム上の制約について」)。
Impossible	MDの1曲目で「Combine」しようとした。1曲目では「Combine」の操作ができない。
LEVEL-SYNC	自動曲番を付けるためのレベル検出状態になっている(「自動で付ける」12ページ)。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。1792文字しか入れることができない。
NO DISC	MDが入っていない。
No Track	曲は入っていないが、ディスク名だけが付いているMDが入っている。
Protected	MDが誤消去防止状態になっている。
Retry	録音中、振動やMDの傷があったので、記録し直している。
Retry Error	録音中、振動やMDの傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し、正常に録音できない。
Sorry	つなぐことができない曲をつなごうとした。
STANDBYの点滅	<ul style="list-style-type: none"> ご購入後初めて電源を入れたとき、またはACコードをコンセントから長時間抜いていた後に電源を入れたときに表示されます。 前回到録音した内容が正しくMDに記録されていない。または前回到ったときの再生状態などを本機が記憶していない。

故障かな?と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせください。

操作を受けつけない。

- MDが汚れている、または損傷している(「Disc Error」が表示される)ので新しいMDと取り替えてください。


再生できない。

- 結露(内部に水滴が付着)しているのでMDを取り出して、そのまま数時間置いてください。
- 電源を入れてください。
- MDの矢印の向きに合わせて差し込んでください。
- 何も録音されていないMDが入っている(ミュージックカレンダーが出ない)ので、録音されているMDと取り替えてください。

録音できない。

- MDが誤消去防止状態になっている(「Protected」が表示される)ので、MDの誤消去防止つまみをもどして孔を閉じてください。
- 音源と正しく接続されていないので接続し直してください。
- アナログ入力(ライン入力)時に録音レベルが小さすぎるので、RECLEVEL調節つまみで録音レベルを調節してください。
- 録音用ディスクと取り替えてください。
- 残り時間が充分ある録音用ディスクと取り替えてください。または、不要な曲を消してください。
- 録音中に電源コードが抜かれた、または停電になったため、それまでの録音の内容は失われる恐れがあります。正常に録音できていないときは、はじめから録音し直してください。

MDが途中で取り出せない。

- ロック機能が動きますので、いったんMDを押し込んでから、 (MD取り出し) ボタンを押して取り出してください。

雑音が多い

- テレビなどから充分離しておいてください。

※ 上記のどの処置でも正常に動作しない場合は、電源プラグをはずし、再度電源プラグを入れ直してください。

※ 一部のRS IIコンにはMDは2つは入りません。従って操作不可能です。

参考仕様

■ミニディスクレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
ディスク	ミニディスク
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー使用)
レーザー	半導体レーザー(λ=780nm)
録音再生時間	最大74分(MDW-74使用時)
回転数	約400rpm~900rpm(CLV)
エラー訂正方式	アドバンスドクロスインターリーブ リードソロモンコード(ACIRC)
サンプリング周波数	44.1kHz
コーディング	アダプティブトランスフォーム アコースティックコーディング (ATRAC)
変調方式	EFM
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	5~20,000Hz±0.3dB
SN比	再生時98dB以上
ワウフラッター	測定限界値 (±0.001% W. PEAK)以下

■電源・その他

電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	13W
最大外形寸法	280×82.5×346.5mm (幅/高さ/奥行、最大突起部含む)
重量	3.5kg

■付属品

9ページをご覧ください。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスリングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

■入力端子

端子名	端子形状	入力インピーダンス	基準入力レベル	最小入力レベル
ANALOG LINE IN端子	ピンジャック	47kΩ以上	500mVrms	158mVrms
DIGITAL IN端子	角形光コネクタージャック	発光波長 660nm	-	-

■出力端子

端子名	端子形状	出力レベル	負荷インピーダンス
ANALOG LINE OUT端子	ピンジャック	2Vrms(50kΩ時)	10kΩ以上
DIGITAL OUT端子	角形光コネクタージャック	-18dBm	発光波長 660nm



索引

あ

一時停止	7, 8
移動する(MOVE機能)	23
入れる	
MDを入れる	6, 8
A-Bリピート	18
MD(ミニディスク)	
再生用MD(MDソフト)	14
録音用MD	6, 14
取り扱いかた	4
オートカット	11
オートスペース	18
オートポーズ	18
お手入れ	4

か

消す(イレース機能)	
1曲ずつ消す	22
1枚のMDのすべての曲を消す	22
1曲中の一部分を消す	23
コード	
オーディオ接続コード	9, 10
オーディオ用光伝送ケーブル	9, 10
故障かな?	28
誤消去防止つまみ	7

さ

サーチ	15
再生する	8
参考仕様	29
サンプリング周波数	10
システム上の制約	27
シャッフル再生	16
シリアルコピー	
マネージメントシステム	26
スマートスペース	11
接続	
アナログ接続	10
デジタル接続	10

た

タイマー	
再生	19
録音	13
ダイレクト選曲	15
つなぐ(COMBINE機能)	20
トラックマーキング	12
オートトラックマーキング	12
マニュアルトラックマーキング	12
取り出す	
MDを取り出す	7, 8

な

名前を付ける(タイトル機能)	
リモコンで曲名や	
ディスク名を付ける	25
曲名やディスク名を変更する	25
すべての曲名とディスク名を消す	25

は

表示窓	14
付属品	9
プログラム再生	17
プログラム内容の確認	17
プログラム内容の変更	17

ま

ミュージックスキャン	15
メッセージ表示	28

ら

リピート再生	16
1曲リピート	16
リモコン	9
録音する	6, 7
残り時間を調べる	11
録音した曲を確認する	11
録音レベル調節	12

わ

分ける(DIVIDE機能)	21
---------------	----

A~Z

AUTO MUSIC SKIP	15
LEVEL-SYNC	12
TOC	6, 11, 20

操作部のなまえ

ボタン

A-B	18
A.SPACE	18
CAPS	25
CLEAR	17, 25
DISPLAY	11, 14
EDIT/NO/YES	12, 20~25
M.SCAN	15
NAME	25
NUM	25
PLAY MODE	16, 17, 19
PROGRAM	17
REPEAT	16
SCROLL	14
SHUFFLE	16
REC(録音)	7, 12
▶PLAY/PAUSE	7, 8, 11, 16, 21
(再生/一時停止)	
◻STOP(停止)	7, 8, 17
SEARCH<</>>	
(早戻し/早送り)	15, 24
AUTO MUSIC SKIP<</>>	
(頭出し)	7, 8, 15, 17
△(MD取り出し)	7
25<(曲番26以上)	15, 17
アルファベット/数字ボタン	15, 17

スイッチ

INPUT(入力)	7
POWER	6, 8
TIMER	13, 19

つまみ

AUTO MUSIC SKIP<</>>	
(頭出し)	7, 8, 15, 16, 20~24
REC LEVEL	7, 12

端子

デジタル入力/出力	10
ライン入力/出力	10

その他

ディスク挿入口	6, 8
ミュージックカレンダー	14